



葛飾ブランド「葛飾町工場物語」  
まちこうば

# 父娘とのヨラボで作りに上げた シリヨンゴム雑貨の逸品

～究極のエコぞうきん『ほごりとり』～

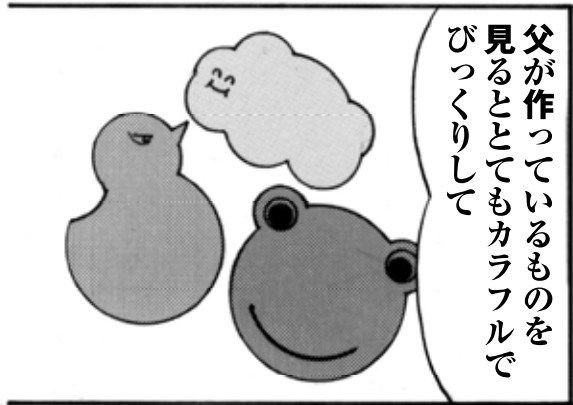
株式会社おおかわ

作・桂田 健治

昭和41年創業  
工業用ゴム  
製品製造業



(株)おおかわ



父が作っているものを見るときでもカラフルでびっくりして



これならば今までにない様々な製品が生みだせるかも知れないと思いました

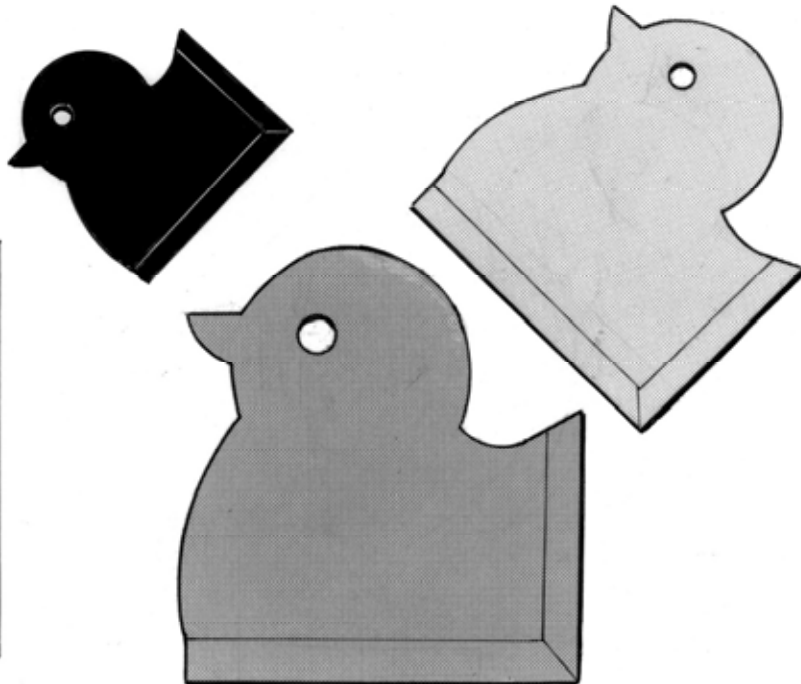


父がゴム工場を経営しているから小さい頃からゴムにはあまりいい印象は持ってませんでした

どちらかというとき黒く重くて小さいものだなんて...

大川恵美子 取締役

それが入社後印象は180度変わりました



究極のエコぞうきん「ほこりトリ」

シリコンゴムの粘着性と静電気を活かした掃除用具である

この下と  
右の部分は

平面を  
ふき取るための  
もの

クチバシのトンがりや  
キーボードのスキ間など  
狭い部分のゴミの  
ほじくり出しに有効

水洗いが  
でき

スタンプ  
パッドや

コースターなどにも  
利用できます

平成22年  
5月から  
東急ハンズ  
全店で  
販売されると

このような  
多機能と  
かわいい  
デザインが  
相まって  
おかげ様で  
大ヒットと  
なりました

作りかたは

コンプレッション成型  
(たい焼のような成型法)で

シリコーンゴムを  
加硫し※

※加硫—ゴムの弾性や強度を確保するために  
熱する行程



ハサミで  
ひとつずつ  
切り分け

目の部分を  
ポンチと木づちで  
ひとつずつ  
抜いていき



複数の製品が  
一枚のシートに  
成型されます



電気炉に入れ  
二次加硫を行い  
仕上げます



これだ！

と  
ひらめいて



ある朝

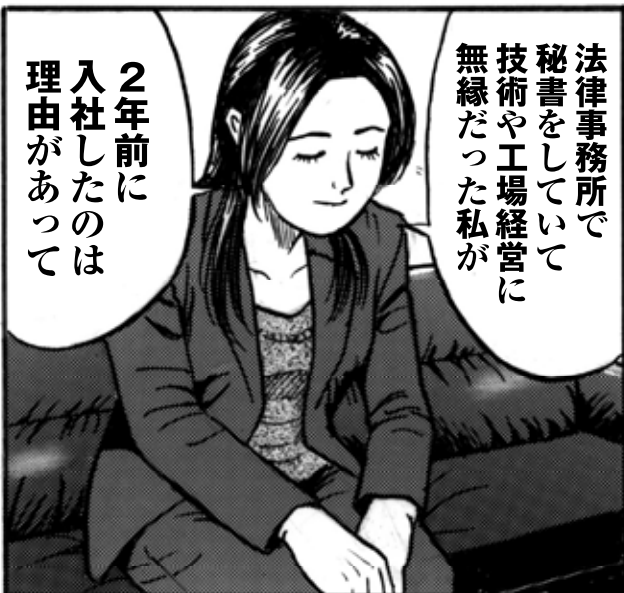
この「ほごりトリ」の  
アイデアを  
思いついたのは



「いいと思ったことは  
やってみろ」と

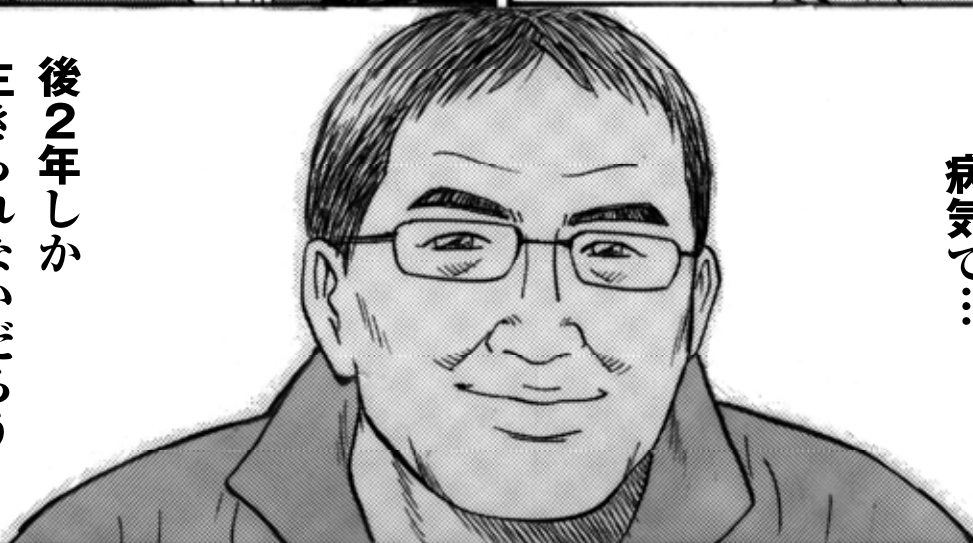
父に相談すると  
すぐに  
賛同してくれて

大川誠十郎 前社長



後2年しか  
生きられないだろう

オレは  
病気で…



大川淳 代表取締役



製品に対する  
父の技術的こだわりは  
相当なものでした

※型抜きでなく  
成型でないと  
顧客を満足させる  
製品ができないと  
アドバイスしてくれたのも  
父でした

※型抜き—ゴムのシートから抜き形を使って  
形にする方法

平成21年12月

誠十郎氏  
逝去—

一カ月後の  
平成22年1月



父と娘が開発した  
「ほこりトリ」は  
※TASKものづくり大賞を  
受賞した



※TASKものづくり大賞  
台東(T)、荒川(A)、足立(A)、  
墨田(S)、葛飾(K)の5区が  
共同で行う  
ものづくりプロジェクト

「ほこりトリ」は  
現在でも  
亡き誠十郎氏の  
遺志を受け継いで

成型品として  
毎日ていねいに  
作られている